

2009年6月9日

ランクセス、青島のゴム研究開発センターを拡張

ランクセス株式会社

- ゴム練りから評価まで可能な研究所を新設し、中国市場向けの革新的なゴム製品の開発を加速
- 経済不況下においても2009年の研究開発費を10%増額
- 新設備に約1,000万ユーロを投資

ドイツの特殊化学品メーカー、ランクセス(LANXESS)は、中国・山東省青島の高性能ゴム研究開発センター(RRCQ)拡張プロジェクトの完了を発表しました。これにより、ランクセスは研究開発に焦点を絞った投資を行い、アジア地域で収益性の高い成長戦略を実施していきます。

ランクセスは、特に BRICs 諸国(ブラジル、ロシア、インド、中国)において、競合優位のポジションを継続していくため、目的に応じた革新的な製品を中国の顧客に提供する必要があると考えています。そして成長を続ける中国のゴム市場でランクセスが競争力を高めていくため、新研究開発センターで、新製品および既存・新製品の新しいアプリケーションの開発をします。また戦略的な開発を促進するため、経済不況下においてもグループの研究開発費を増額しています。2009年の研究開発費を10%増額し、特に中国の顧客とパートナーに、高品質で信頼性の高い革新的な製品を提供していきます。

今回ランクセスは、RRCQ に約1,000万ユーロを投資し、新たに400平方メートルのゴム練りから評価まで可能な研究所と400平方メートルのパイロットプラントを設置、拡張しました。RRCQは3,000平方メートルまで拡大され、新製品や技術開発などの基礎研究から技術上の顧客サポート、また新たに開発された製品の商品化準備まで、包括的な機能を備えています。同センターでは、15人のスタッフが研究活動に携わっており、運営はランクセスのテクニカルラバープロダクトビジネスユニット(TRP)、ブチルラバービジネスユニット(BTR)、パフォーマンスブタジエンラバービジネスユニット(PBR)が共同で行っています。

さらにランクセスは、青島科学技術大学(略称:QUST)とゴム業界向けの研究開発および人材育成に関する協力協定を締結しています。青島港近郊は中国のゴム産業の中核で、同大学は中国のゴム関連分野で多くの優秀なエンジニアを輩出しています。

中国は、今後も主要市場の一つとしてランクセスの成長の原動力になると考えており、経済不況下においても、タイヤ市場をはじめとする主要なゴム用途で長期的成長を見込んでいます。そして研究開発ネットワークおよび顧客の的確なニーズに応じた現地製造を強化することで、中国市場へ付加価値製品の提供を目指します。

ランクセスは傘下のラインケミーが、1999年青島に電機・電子、自動車産業向け高分子添加剤の製造工場を開設して以来、潤滑油添加剤の製造プラント設立も含め、青島に継続的に大規模な投資をしています。

#

このリリースは、ドイツ・レバークーゼンで5月22日に発表されたリリースをもとに、ランクセス株式会社が発表したものです。

このリリースの原文(英語)は、以下のURLにてご参照下さい。 <http://www.press.lanxess.com>

ランクセスについて

ランクセスは、世界23カ国で事業を展開する大手特殊化学品メーカーです。2008年の総売上は65億8000万ユーロにのぼり、全世界の従業員数は約14,600人、世界中に44の拠点を展開しています。主な事業は、プラスチック、合成ゴム、中間体、特殊化学品の開発、製造とマーケティングです。ランクセスについての詳細は同社URLにてご確認下さい。 <http://www.lanxess.co.jp>

本件に関するお問い合わせ先:

ランクセス株式会社 コーポレートコミュニケーションズ

佐野 公美

TEL : 03-5293-8005 FAX : 03-5219-9773

kumi.sano@lanxess.com

免責について (Forward-Looking Statement):

このニュースリリースには、ランクセス経営陣による現在の仮定と今後の予測に基づく記述があります。既知あるいは未知の各種リスクや不確定性、その他の要素により、本頁に記載された予測と弊社の今後の総合売上高、財務状況、業績の数字が異なる場合があります。弊社は、ニュースリリースの記載事項を更新、もしくは今後の出来事や進展状況に合わせ、内容を変更する義務はないものとします。

(2009-00106J)